

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 42 号	氏名	藤原 雄介
学位審査委員	主査 河野 通明 副査 芳本 忠 副査 植田 弘師		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、神経膠芽腫細胞等において高率に PI3 キナーゼ/Akt 経路の異常亢進が認められる事に着目し、その選択的遮断を基盤とした新規がん化学療法の開発を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 この種の研究成果を左右するがん細胞の維持、管理はもとより、薬剤の選択、細胞処理法は適正に検討されている。また、フローサイトメトリー法による細胞周期動態、ウエスタンブロット法による細胞内シグナル分子の機能変動、siRNA 導入による目的遺伝子のノックダウン法等を駆使して、各薬剤処理後の細胞応答を詳細に解析しており、これらの手法は高く評価できる。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PI3 キナーゼ/Akt 経路が恒常的に活性化されているがん細胞において、それを選択的に遮断することで、Doxorubicin 及びチューブリン重合阻害剤の抗腫瘍効果が極めて顕著に増強される事を明らかにしており、今後のがん分子標的治療研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はがん分子標的治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			